

3人

——社会への配慮

人は、富の創造を牽引したり、革新的な製品・サービスを開発したり、暮らしや仕事の場となるコミュニティを支援するグローバルで経済的な豊かさの中心に置かれている。

世界経済フォーラム白書「ステークホルダー資本主義を測定する」より

100

- 101 当グループの「人」(社会課題)に対する考え方
- 102 人的資本
- 119 人権の尊重
- 123 超高齢社会問題への対応

当グループの「人」(社会課題)に対する考え方

SDGsが目指す持続可能な社会は「人間を中心に据えた社会」を想定しており、17のゴールは究極的には人々の幸福を目指すものです。1948年、WHO(世界保健機関)は人間の幸福な状態をWell-being(精神的・肉体的・社会的に満たされた状態)と表現し、OECD(経済協力開発機構)はWell-beingの条件を所得や雇用、住宅といった実体が伴った有形のものと健康や教育、社会とのつながりなどから得られるQOL(生活の質)という無形のものからなると定義しました。当社は豊かさの追求や地球環境の配慮に関わる取り組みも、最終的にはお客さまや社員だけでなくあらゆる「人」のWell-beingにつながるポジティブインパクトの創造と整理しています。

OECDによるWell-beingの定義

有形のもの	無形のもの(QOL:生活の質)
• 所得と富 • 雇用と収入 • 住宅	• 健康状態 • ワークライフバランス • 教育・技能 • 政治との関わりとガバナンス • 社会とのつながり • 環境品質 • 個人の安全 • 個人が感じている総合的な生活満足度

関連するマテリアリティ

インパクトマテリアリティ

マテリアリティ	リスク/機会	主たるステークホルダー	主な対応
サステナビリティをテーマとしたビジネス機会の追求	機会	お客さま、社員、地域社会	ビジネスを通じたポジティブインパクトの最大化(社会課題の解決に資する革新的な金融商品の開発や投融資先の積極的な行動変革を促すエンゲージメント等)
投融資先の環境・社会への影響に対する配慮	リスク	お客さま、社員、地域社会、NPO	ビジネスを通じたネガティブインパクトの最小化(セクターポリシーやESGガイドラインに沿った投融資、投融資先の人権問題等負の影響の抑制を促すエンゲージメント等)
人口減少・超高齢社会問題	リスク/機会	お客さま、社員、地域社会、事業パートナー	高齢者のWell-beingへのインパクトという視点からの業務の見直し、認知症問題への対応、子育て支援の観点も踏まえた財産の世代間移転等

ガバナンス・経営基盤マテリアリティ

マテリアリティ	リスク/機会	主たるステークホルダー	主な対応
人材力の強化と職場環境の整備	リスク/機会	社員	多様な人材の確保・登用、適切な人事評価と給与体系、人材育成、社員満足度の向上、社員の健康の増進、雇用と労働者の権利保全等

関連性の高い
SDGs

